

科目名	生活環境論【理学】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	宮 原 洋 八						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修（理学）
授業の概要 及びねらい	生活環境論では、ICF（国際障害分類）による環境因子という考え方を基本概念とし、リハビリテーションの目標である生活機能の獲得には、生活環境としての環境因子をどのように捉えるかが重要である。本講では、それらの関係について学習する。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 生活環境論のとらえ方を理解する。 2) 生活環境評価の手順とポイントを理解する。 3) 症例がもつ問題点の考え方について理解する。 4) 住宅改造のプランニングについて理解する。						
学習方法	講義（討議を含む）						
テキスト及 び参考書等	参考書：「新版 福祉住環境」市ヶ谷出版社 2009						
評価基準・方法	到 達 目 標					技能・表現	評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度				
定期試験	◎	◎					90
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度				○			10
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	生活環境論とは						
第 2 週	住環境について						
第 3 週	福祉住環境の意義と役割						
第 4 週	生活環境の評価						
第 5 週	生活環境の改善						
第 6 週	高齢者の環境整備						
第 7 週	障害者の環境整備 1						
第 8 週	障害者の環境整備 2						
第 9 週	プランニングとケアマネジメント						
第 10 週	生活環境と法的諸制度						
第 11 週	高齢者の在宅生活サービス						
第 12 週	地域・在宅における臨床思考過程の展開						
第 13 週	住環境と介護予防						
第 14 週	高齢者の住まいとケアの展望						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	授業内容は変更することもある。						